

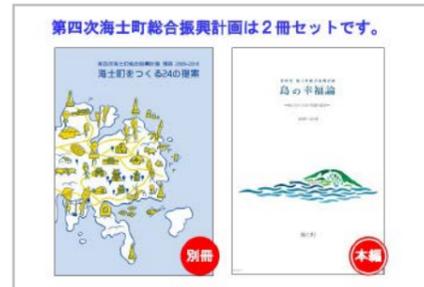
計画に基づく市民のアクションの意義について



東北芸術工科大学
コミュニティデザイン学科
醍醐孝典さん

一般的な総合計画では行政区分のカテゴリーを設定して施策や事業を整理します。一方で本日のテーマ別のアイデア発想は生活者視点で考えます。島根県海士町の総合計画策定では、24の町民の活動アイデアが生まれ、本編の計画書とは別にまとめました。島の景観を保全するために竹林の炭焼きクラブをつくったり、安心・安全で地域交流をが盛んになるよう、地域の活動に誘うボランティア「おさそい屋さん」を立ち上げるなどしています。このように主体的で革新的な

アイデアを創出するためには、それぞれの分野におけるこれまでの常識「コンフォートゾーン」ではなく、「ラーニングゾーン」と呼ばれる文脈や常識を一步逸脱した領域での議論が大切です。しかし、振り切りすぎるとコントロール不可能になる「パニックゾーン」に入ってしまうので注意が必要です。本日のワークでは今までの自分の考えから一步踏み出したラーニングゾーンを意識してほしいと思います。



講評 醍醐孝典さん

一般的な総合計画は3層構造になっており、次回の報告会ではその上位に位置する「基本構想」案を事務局から提示してもらい、ご意見を頂く予定です。本日拾いきれなかったアイデアにも多くの可能性が含まれていますので、各テーブルの市職員からも様子を共有してもらいながら事務局で整理してもらえればと思います。この会は総合計画のためのワークショップですが、アイスブレイクやブレインストーミング、CTPTでまとめる企

画の整理法などの議論の方法を職場や学校で活かせるような、そんな学び合いの場にもできたら良いと思います。



参加者の感想

とてもおもしろかった！ / 紙を回してのアイデア発想がおもしろかった / アイデアを出すには「ノリ」が必要だと思った / 前回より話し合いの時間が充実した / Yes, and が難しい / 醍醐さんからのフィードバックが参考になった / 実際に企画を実現させたい / 企画の実現可能性を踏まえてどのように計画に反映されるのか気になる / 時間通りの進行ができると良い

次回のご案内

日時：2020年2月12日(水) 18:30～
場所：シェルターなんよう 小ホール
「総合計画の基本構想案」をご報告する予定です。

お問い合わせ
南陽市みらい戦略課
tel. 0238-40-0248



nanyo 市民とみらい ワークショップ

Vol.3
2019年11月27日(水)
18:30～21:00
シェルターなんよう 小ホール
プログラム
開会
趣旨説明
海士町総合計画の活動事例紹介
テーブル内自己紹介
ワーク「将来像の実現に向けた取組提案」
閉会

前回の振り返り



南陽市みらい戦略課
鈴木淳さん

前回は10年後の南陽市の将来像をウィッシュポエムを使って想像し、キャッチコピーにまとめるワークを行いました。難しい内容にも関わらず、楽しみながら全チームがまとめて上げることができ、とても驚きました。今回行う活動アイデア創出ワークでは、前回までの意見を元にして事前に事務局でテーマを設定させて頂きました。今日は受付でみなさんにテーマを選んでもらい、希望のテーマのテーブルに座っていらっしゃいます。2月に予定している第4回(報告会)のワークショップでは皆さんから頂いた意見をどのように計画したのか、基本構想案をお示しする予定です。本日も頑張ってください！

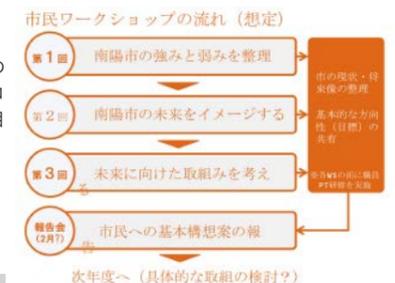
「市民とみらいワークショップ」について

南陽市では、2021年度から2030年度までの10年間は計画期間とした新しい総合計画の策定に取り組んでいます。11月27日に行われた「第3回市民とみらいワークショップ」では、市民30名が参加。市職員がテーブルの進行役となって、南陽市の未来に向けた取組みアイデアをワークショップ形式で話し合いました。

進め方

このワークショップでは、南陽市の魅力や課題、将来像を全3回のプログラムで整理し、基本的な方向性(目標)をまとめていきます。

今後のスケジュール
第1回：10月2日(水)
第2回：10月30日(水)
第3回：11月27日(水) 本日！



わたしたちの未来に向けた取組みを考えよう！

前回までのワークショップでの意見を元に、事務局で設定したテーマのチームに分かれ「南陽市の未来に向けた取組み」を考えました。テーブルの進行役を市職員が務め、取組みのアイデア創出から具体的な企画案まで、すべてのチームがまとめ上げ発表を行いました。



企画化までのステップ

テーブル内自己紹介



取組みアイデア(キーワード)を用紙に書き出す



みんなでアイデアを重ねていく



キーワードを抜き出して企画にまとめていく



南陽市の未来に向けた各テーマの活動提案 ※C:コンセプト T:ターゲット P:プロセス T:ツール

テーマ これまでにない新しい結婚対策を考えたい！ 「南陽で触れ合うも多少の縁♡」

概要：婚活イベントの参加のハードルを下げ、多くの人を呼び込む
C：市外、県外の人と出会い、つながる
T：市内の未婚者と熊野大社や赤湯温泉に来た人
P：イベント情報のQRコードを設置する
T：月結びやワインフェスなどのイベントを企画

チームからのコメント
参加のハードルを下げるため、広報では多くの市民にイベント情報が伝わるようにラーメン屋やカフェにQRコードを設置します。また、熊野大社に月結びに来た方には兎からの誘いとしてイベント情報を送ったり、赤湯温泉の宿泊客のチェックイン時を勧誘に利用するなど、市内外の方を多く巻き込んでいけたらと思っています。

講評
「縁」の考え方がいいですね。結婚を目的とした縁だけを目的にするのではなく、新しい仲間や趣味が合う友達ができるなど、自分の人生を豊かにする縁が結果的に結婚に繋がるような考え方も良いかもしれません。

テーマ 南陽市の魅力をもっと売り込むためにはこれだ！ 「ラーメン消費量日本一プロジェクト」

概要：ラーメンの消費量を増やす取組みを通じて南陽をPRする
C：真のラーメン消費量1位を取るため
T：市民をターゲットとし、最終的には世界を目指す
P：毎月11日を「南陽ラーメンの日」に制定する、など
T：南陽市ラーメン課が事務局となり、活動を行う

チームからのコメント
南陽市がラーメン消費量全国1位になるための取組みを通じて、南陽をPRしていきたいと思っています。毎月11日をラーメンの日に制定して割引価格で提供したり、市長自らラーメン系YouTuberとして情報発信を行うなど、様々な取組みを行います。そして最終的には南陽市発の国民食、人類食としてのラーメンを目指していきたいです。

講評
悪ノリしながら沢山面白いアイデアが出たと思います。ラーメン消費量1位になることをコンセプトに掲げていますが、南陽市のシビックプライドを掘り下げていくと今日の提案の必要性がさらに高まるはずです。

テーマ 面白い移住・定住のアイデアを考えたい！ 「十分一山開発計画(ひだまりパーク)」

概要：十分一山を切り崩してニュータウンを築く
C：南陽市の人口を増やすため
T：県外の人
P：年間50棟の住宅を造成し、10年間で500棟を造成
T：南陽市のPRツアーを開催して、まずはまちを知ってもらう

チームからのコメント
美しい田園風景や白竜湖などの資源が豊富な十分一山を利用して大規模なニュータウンを築き、田舎暮らしに興味のある県外の方を呼び込みたいと考えています。建物は全棟木造建築でギネスを目指し、移住を促進するためのPRツアーや芸能人の別荘を誘致したりしながら利用者を増やし、人口増加を狙っていきます。

講評
“どのようなものさしを持って計画を考えるのか”という問いかけがある発表でした。南陽が好きの人を増やすという考えをさらに深め、移住希望者のニーズを調査できるとより良い企画になると思います。

テーマ 将来残したいこの産業！継承・発展させるためには！ 「農tu部(Nou Tube)」

概要：高校に農業部をつくり、youtubeチャンネル「農tu部」にて農業や製品に関する動画コンテンツをPR発信する
C：配信を通じて高校生に農業を身近に感じてもらう、若手農家を増やす
T：高校生、全世界の視聴者
P：部員は南陽高校のPC部と家庭部を合併して確保
T：高校生と農家と自然

チームからのコメント
テーマがあると一生懸命になれる高校生が多いという議論を踏まえ、農業に関する動画コンテンツ制作を通して南陽をPRすることが、農業を身近に感じるきっかけとなり、結果的に若手農家の育成に繋がるのではないかと考えました。

講評
自分主体で企画を考えたところに可能性を感じました。「まずはやってみる」ことが大切です。活動を行いながら企画をブラッシュアップしてコンテンツを育てていくのが良いのではないのでしょうか。

テーマ 新しい交流・賑わいづくりを考えたい！ 「星降るホテルで世界の人にプロポーズ♡」

概要：高ツムジ山山頂に高級ホテルやジップラインを建設し、県外の人に南陽市を満喫してもらう
C：世界中に南陽市を発信する
T：南陽市を知らない世界中の人々
P：ホテルの運営は地元企業同士で合同会社をつくる
T：高級ホテルは出資を募り、ジップラインはクラウドファンディングで資金調達を行う

チームからのコメント
1日1組、1泊100万円の高級ホテルや、白竜湖までのジップラインを建設します。合わせてサングリアの開発や温泉街のまち歩きツアーを企画することで、町の産業全体を巻き込んだ賑わいづくりができると考えています。

講評
近年では日本の生活や文化の体験を求めるインバウンド需要も増えて来ていますので、まずは今ある地域の資源をどのように活かせるかを検討できると、より南陽らしい企画を引き出していただけるのではないのでしょうか。

テーマ ない産業はDIY！起業のアイデアを絞り出せ！ 「起業家になれる町南陽♡」

概要：廃校を活用した起業家育成塾の経営
C：起業家になれる町南陽の実現
T：全世代の住民と市外の起業したい人
P：旧中川中のリノベーション→講師の確保
T：南陽市 × 芸工大 × 市民のプロジェクトチームをつくる

チームからのコメント
廃校を利用して起業家アントレプレナーを育成します。クラウドファンディングや住民同士で出資できるような仕組みを整え、廃校をアイデアが出しやすい空間に整備しながら、起業に強い町を目指します。最終的には卒業生が講師を務めることを理想として、行政と市民、芸工大の三者でのプロジェクトチームを作り運営したいです。

講評
非常によくまとまった企画です。大規模な起業というよりは小商いやプロボノなどの、本業にプラスして2枚目の名刺を持つような、時代に沿った働き方を踏まえた内容への検討も必要かもしれません。